

## 基本情報

施設名	ラフ・クルー星川保育園
所在地	横浜市保土ヶ谷区和田 2-3-3
電話番号	045-442-7546
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

## 評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 30 年 6 月 15 日～ 平成 30 年 7 月 20 日	全職員が各自で評価した内容についてリーダー職員および園長・主任により精査し、評価のまとめを行った。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 30 年 9 月 18 日 平成 30 年 9 月 19 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認および園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行いました。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 30 年 7 月 30 日～ 平成 30 年 8 月 15 日	園行事にて第三者評価についてお知らせをし、アンケートへのご協力を依頼。配付時には、職員より手渡しにて再度、ご協力について声かけをしながらお渡しをし、各家庭より投函していただく。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 30 年 9 月 18 日 平成 30 年 9 月 19 日	0 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめました。

## 第三者評価結果報告書

### 《総括》

対象事業所名	ラフ・クルー星川保育園
経営主体(法人等)	株式会社コミュニティハウス
対象サービス	保育所
事業所住所等	横浜市保土ヶ谷区和田 2-3-3
設立年月日	平成 23 年 4 月 1 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価実施期間	平成 30 年 5 月（契約日）～平成 31 年 2 月（報告書提出）
評価項目	横浜市版

### 《総合評価》

#### 【ラフ・クルー星川保育園の立地・概要】

●ラフ・クルー星川保育園は、相鉄線星川駅から徒歩 5 分、国道 16 号線沿いに位置しています。周辺は八王子街道沿線に開けた地域であり、横浜新道にも隣接した交通の要衝であり、近くには常盤公園等多くの公園も点在して緑も豊かであり、少し足を伸ばせば三ツ沢競技場、保土ヶ谷球場等があります。星川駅前には保土ヶ谷区役所や関連の官公庁が集結し、教育では横浜国立大学、保土ヶ谷高校、桜ヶ丘高校、ろう学校があり、保土ヶ谷区の中心部と言えます。

●園舎は、国道に面したマンションの 2 階部分にあり、階段を上り、玄関の入り口からは保育室内に入る比較的長いスロープが設けられ、スロープの左側は裸足の区域、右側は外扱いで靴を脱いだり履いたりするスペースとなっており、子ども達が一斉に靴を履きかえることができるように工夫されています。スロープの先は事務室になっており、正面の窓からは園長や職員が園児の様子、保育士の様子、来客の状況・対応ができる体制になっています。事務室の左手前のドアから入ると、ランチルームが中央に設けられ、右側の大きな保育室は幼児の部屋として活用し、左側は乳児の保育室になっており、奥には談話室が設けられています。乳児クラスは、0 歳児（つき）、1 歳児（ほし）、2 歳児（そら）とクラス別になっており、幼児は日常的に異年齢で一緒に過ごしています。3 歳（はな）、4 歳児（にじ）、5 歳児（とり）のグループ活動と共に、5 歳児は就学に向けて別室で過ごす等、柔軟な体制で保育にあたり、有機的に活動が行われています。ラフ・クルー星川保育園の子ども達は、家庭的な雰囲気にもまれ、思いやりを育み、明るい笑顔で溢れています。

## 【ラフ・クルー星川保育園の方針】

●園の名称である「ラフ・クルー」とは、Laugh（笑顔）とCrew（仲間）が歯車となってつながって行く願いを込めて名付けられています。「子どもの個性を尊重し、豊かな心を育て、たゆみない笑顔を創造する」ことで“歯車”が潤滑し、豊かに回転しています。ラフ・クルー星川保育園の特徴は大きく5つあります。それは、担当制・異年齢保育・子ども社会（兄弟姉妹のようなかかわりの生活）・共育て・ランチルーム、そしてホワイトボードの工夫が挙げられます。特に、大きな特徴として、「心の育ち」と「子ども社会」と「共育て」が中核となっています。乳児は担当制を取り入れ、軸になる担当保育士との信頼関係・愛着関係を大事にしながらか子どもの「心の育ち」を大切に考えています。異年齢は3歳～5歳児がグループに分かれて活動していることと併せ、お世話や指導をしながら異年齢での生活が楽しみとなるようにつなげています。ランチルーム・ホワイトボードは、有効な活用を図り、独自の取り組みが成されています。さらに、障害を持つ子どもを受け入れ、その子の全てを受け入れる体制で全保育士で保育に当たっており、他の子ども達も自然に受け入れ、共に育まれています。

## 《優れている点》

### 1. 【「共育て」の推進】

●子どもと保護者、保育園とよる「共育て」をラフ・クルー星川保育園の保育方針としています。子どもの育成を共に悩み、一緒に育てることで保護者も保育園（全保育士）、そして子どもも一緒に成長することができます。開設当初は、保護者・園長による「共育て」、保護者対応は園長が行っている状況でしたが、保育園（全保育士）の成長を見据え、園長・主任がサポートしながら、子どもや保護者の対応は現場の水際で行なうべきと考え、「共育て」を水際に移し、これにより担任保育士が育ち、子育てに不安を抱える保護者も成長が見られています。また、年齢の近い担任保育士と保護者間に共感も生まれています。保育園の使命はお預かりした子どもを健やかに育成することにあります。保護者にはそれ以上に自分の子どもに対する責任があります。今後も一層、「共育て」を推進し、保育士、保育園の尽力に大きく期待しています。

### 2. 【一人一人の心の育ちにしっかり向き合う保育】

●ラフ・クルー星川保育園では、乳児担当制を採用しています。自己肯定感を育成する乳児期の一番大切な時期を乳児担当制により、一人一人の心の育ちにしっかり向き合う保育を実践し、愛情溢れる担当保育士との愛着関係を謳歌し、心の豊かな子どもに育まれるよう努めています。シフトにより100%担当保育士と過ごすことは難しい面もありますが、生活においてなるべく担当保育士が主として担当するゆるやかな担当制をとり、生活リズム、保育の進め方を構成しています。保育器材や玩具等の消毒は舐めても大丈夫なチュチュベビーを採用し、環境保全にも留意し、毎日清掃・消毒を欠かさず実施しています。

## 《さらなる期待される点》

### 1. 【さらなる保育士の質の向上について】

●ラフ・クルー星川保育園では、法人の理念、保育方針に沿い、異年齢保育・子ども社会・共育で・ランチルーム等の施策を展開し、急速な進展を遂げています。これらの素晴らしい施策に沿って若手の保育士の方々も急速に力を付けていることは刮目に値します。今後も継続してさらに研鑽を積み、職員一人一人が自ら施策を構築できるスキルを身に付けるよう努力が期待されます。また、先輩保育士は後輩保育士にノウハウの伝授に努め、標準化が図れることを期待しています。

### 2. 【地域子育て支援活動への参加者募集の推進について】

●地域には子育ての悩みを誰にも言えず困っている母親等、行政でも子育ての悩みを持つ保護者に対する子育て支援を推奨しています。ラフ・クルー星川保育園では、Meet baby、一時保育を実施し、地域の方との交流や、赤ちゃん教室の開催等、より参加者数が望まれる現状です。需要側と供給側において、公立保育園のセンター保育園のネットワーク保育士の活用もアプローチの1つとして考え、地域との協働も視野に入れる等、取り組みに期待しています。


## 横浜市福祉サービス第三者評価結果

第三者評価受審施設 ラフ・クルー星川保育園	
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

### <評価領域>

I	利用者本人（子ども本人）の尊重	II	サービスの実施内容	III	地域支援機能
IV	開かれた運営	V	人材育成・援助技術の向上	VI	経営管理


### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類 1 - 1	保育方針の共通理解と保育計画等の作成
評価	

### 評価の理由（コメント）

- ラフ・クルー星川保育園の保育方針は、子どもの最善の利益を第一義とし、子ども本人を尊重した内容になっています。保育内容、保育方針は明文化し、入園案内に掲載して保護者に周知をしています。保育方針の理解については、入社時の新人研修で学び、年 2 回の評価を通して内容・方針の振り返りを行い、確認しています。また、入園案内を職員休憩室に置いて理解を深めるようにしています。園長・主任は、月案・週案に必ず目を通し、保育方針に沿っているかをチェックし、日常の保育の見廻りを実施して確認しています。
- 月案は担当保育士が作成し、子ども一人一人の発達、配慮事項に沿った内容とし、週案では、生活リズム、発達の個人差を踏まえて配慮しています。保育の実施については、子どもに声かけを行う際は正対し、アイコンタクトでゆっくり話すように心がけ、呼び方、言葉かけについても子どもの人権を尊重して行っています。職員は、常に子どもの気持ちに寄り添い、共感を大切にする共通理解の基、保育にあたっています。
- 全体的な計画は、法人系列全園で作成し、保育指針に基づいて基本方針、地域性、周辺環境、子どもの様子、家庭の就労状況等を加味してラフ・クルー星川保育園の計画作成および展開しています。作成については、全職員で係わり、年齢ごとに発達過程、ねらい（養護・教育）、食育、環境等の分野ごとに煮詰め、保育指針に基づいて全体構成が成されています。全体的な計画は、年度当初に保護者に対して説明を行い、質問等いつでも答えられるようにしています。ラフ・クルー星川保育園では、あかちゃん教室の開催、わらべ歌の伝承に力を入れて支援しています。

●全体的な計画に基づき、年間カリキュラム、月案、週案を年齢別に作成しています。0歳～2歳児は個別に月案、幼児はグループ活動表を策定し、幼児で配慮を要する子どもは個別に月案を作成しています。指導計画については、現在の子どもの様子を捉え、子ども達と話し合いながら（言語化できない子どもは表情から気持ちを汲み取り）方向性、展開等を決めて策定し、柔軟に対応しています。園では昨年度から「廃材遊び」を取り入れ、今年度よりグループ活動に「手作り玩具製作」を取り入れています。また、野菜の栽培、異年齢保育等も組み込んでいます。当番活動でも子ども達と話し合っ一緒に当番表を作成し、遠足の行き先も相談して決める等、子ども達は進んで参加し、子ども本位の保育を推進しています。

評価分類 1 - 2	子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施
評価	

### 評価の理由（コメント）

●入園前説明会に子ども同伴での来園をお願いし、保護者に子どもの健康状態や家庭の状況、アレルギー等を聴き取り、個別に面談を行っています。説明会時に子どもが遊んでいる様子を観察し、面談記録、生活リズム表から受け入れの際の情報として職員で共通認識を図り、入園後のリズムの組み立てに生かしています。また、入園式後に保育参加を実施し、その際も親子の様子を把握しています。面談では、家庭での過ごし方、入眠する際の抱き方、睡眠時間、授乳について等、細かく聴き取り、家庭と園の生活が連続したものになるよう職員間で共有を図り、保育に生かしています。

●新入園児受け入れに際して短縮保育（慣らし保育）を実施し、保護者の勤労状況と子どもの様子に合わせて日程を決めて対応しています。0歳、1歳児の新入園児に対しては、安心して過ごせるようにゆるやかな担当制をとり、担任と他職員間で協力体制を構築して配慮し、個々の生活リズム、保育の進め方の構成を工夫しています。保護者へは、乳児は毎日の連絡帳で子どもの様子を丁寧に伝えて連携を密に図り、幼児は必要に応じて連絡ノートを設け、通常はホワイトボードを活用して活動のエピソードを記載してお知らせしています。また、エピソードの記録は年3回提示しています。在園児への配慮では、乳児は小グループ活動を行い、新入園児、在園児がそれぞれ無理のないようカリキュラム構成を工夫し、新入園児・在園児の職員分担による体制を確立し、保護者とも子どもの様子を伝え合い、不安軽減に配慮しています。

●指導計画は子ども個々の発達記録、排泄記録、睡眠チェック表等を考慮した上で計画を作成しています。月案、週案は評価・反省を記入してかわり方の見直しや子ども個々の発達過程・状況を十分に踏まえながら見直し、日々の保育を通して翌月、翌日の保育の見直し・立て直しを行っています。また、前年度の行事アンケートを基に職員会議で反省点や意見を出し合い、反映させるように努めています。

●保育室内には「這うスペース」、コーナーを設け、斜面・階段等を備えた大型遊具や、園庭にはゴムチップが敷かれ、人工芝で安全な築山を設置して子どもが自由に思いっきり体を動かせるようにしたり、寛げるスペースを設定して静と動の環境をバランス良く整備しています。手作り玩具は子どもの発達に合わせて入れ替えを行い、モビールや天井飾りを施し、視覚から興味や好奇心を養えるよう工夫しています。ま

た、子どもの発達に合わせて都度、室内配置を工夫する等、適切に支援しています。

●1歳～3歳未満児の保育においては一斉保育ではなく、少人数での活動を推進し、子ども一人一人の思いが受け入れやすいようにしています。子どもと接する際は、指示語ではなく選択肢を与える言葉掛けを行い、子ども本人が考え・選べるよう主体性の育みを支援しています。友達との係わりでは相手に上手く気持ち伝えられない時や、自分の思いを上手く表現できない場合は職員が共感したり、代弁して仲介する等、友達と楽しく遊べるよう援助しています。

●ラフ・クルー星川保育園では、3歳児から年齢ごとに食育や英語の活動を実施しています。3歳、4歳、5歳児は異年齢保育を通して目標が持てる活動を取り入れ、幼児期に育ってほしい姿を意識して子どもの見本となれるよう職員は努めています。特に、5歳児が生活するスペースでは話し合いの場を設定したり、玩具や教材を自由に手にできるよう活動の場を広げるようにしています。また、給食当番、飼育の世話や草花の水やり等の役割を担い、責任感を育てています。天候に応じて近隣の公園に出かけ、散歩先ではルールのある遊びやなわとび、かけっこ、リレー、ドッチボール等の運動遊びを行い、のびのびと体を動かしています。スポーツフェスタでは近隣の小学校の体育館を借りて行き、基本的に日常保育の中で実践しているプロセスを保護者に見てもらうことを大切にしています。

### 評価分類 1 - 3

### 快適な施設環境の確保

評価




### 評価の理由（コメント）

●施設環境については、職員の掃除分担を明確にし、毎日、玩具、窓・壁拭き、トイレ掃除を実施し、園舎を清潔に保っています。また、室内の温・湿度管理を行い、適宜、通気、換気に配慮しています。冬場には、室内に濡れたタオルや加湿器を設置して湿度維持に努め、観葉植物を置いて空気の清浄、加湿の一助にする等、環境整備に努めています。園舎内は陽光が十分に入り、日中は自然の明るさの中で生活し、0歳児の保育室には天蓋を設置し、光の調整や落ち着ける空間作りがされています。


●0歳児保育室に沐浴設備、温水シャワーを設備し、沐浴台の蛇口には伸縮機能のホースを備え、シャワーへの切り替えが可能であり、汗をかいた時やオムツかぶれ等に活用し、体を清潔に保っています。毎日の清掃および使用前には次亜塩素酸を用いて消毒・清掃で衛生管理を行っています。

●ラフ・クルー星川保育園では、0歳～2歳児は年齢別に各部屋で過ごし、乳児期の丁寧なかかわりを大切にしています。3歳～5歳児は異年齢交流が実践できるよう敢えて各年齢で区切らず、可動式のパーテーションや背の低い棚を活用して活動に応じた空間作りを行い、一緒に過ごす体制を取っています。年長児が乳児の保育室で世話をしたり、乳児の園内散歩で幼児の部屋を訪れて遊んでもらう等、活発に交流をしています。寝食については、乳児は同じ部屋にて遊びの後に清掃して食事、午睡の場所を確保しています。幼児はランチルームで食事を摂り、午睡は幼児保育室に防災マットを敷いた上に布団を敷き、食事と午睡のスペースを区別しています。

評価分類 1 - 4	一人ひとりの子どもに個別に対応する努力
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 3歳未満児は個別指導計画を策定し、情報を共有して保育に生かしています。配慮が必要な子どもについては、会議等で配慮やかかわり方を検討し、共有を図り、職員間で共通理解をして対応しています。個別目標・計画は随時確認を行い、個人別の月案を作成して保育にあたり、子どもの様子、遊び方、発達状況は口頭、クラスの伝言ノートで共有を図り、改善を図っています。保護者とは日々の保育状況を伝え、連携を図りながら共有し、面談等を通して意見や要望を聴いています。
- 子どもの発達過程に応じた記録では、児童票・身体測定表・成長発達記録、個別面談票に記録しています。園では、園や家庭でのエピソードを記録した一人一人の「場面記録」を作成し、「共育で」として子どもの「見方」を共有した取り組みを行い、進級時や保育所児童保育要録等にも生かしています。


評価分類 1 - 5	保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 配慮を要する子どもについては、個別の月案を作成し、個々の配慮点、様子や発達、かかわりを記録し、自己評価を踏まえて、各クラスで次につなげる話し合いを行っています。話し合いの結果は職員会議で報告し、全職員で共通認識を図り、全体でかかわるようにしています。研修にも参加して学び、報告を行い、職員間で知識の共有を図り、保育に生かしています。また、保護者との情報、やり取りを伝言ノートに記入して相互に把握し、必要に応じてミーティングで進め方・対応方法を決めています。
- 横浜市西部療育センターや医療機関、専門機関と連携を図り、助言を得られる態勢を整え、保護者と情報を共有し保育にあたっています。障害児保育のための環境整備では、園内はバリアフリーの構造になっており、段差はなく、オストメイトのトイレの設備も備え、エントランスには点字ブロックが設置されています。職員は、障害児保育の研修に参加し、研修の報告や園内研修で知識や情報を共有しています。言葉での表現が難しい子どもに対しては気持ちを代弁し、子どもの思いや欲求を汲み取るよう心がけ、職員間で同じ対応やかかわりができるように努めています。また、玩具の写真を棚に貼り、視覚的情報が得られるよう工夫に努めています。配慮を要する子どもについては、一人一人の状況を把握し、個別に指導計画を立て、会議等で情報を共有し、職員間で話し合える体制を確立しています。さらに、リハビリ教室の担当職員や保土ヶ谷区の保健師に相談し、来園してもらい専門的視点からアドバイスを受けています。



- 虐待については、マニュアルに定義を明示し、職員に周知しています。日々の視診により虐待が疑われるようなケガ、アザや衣服の汚れについて確認し、状況に応じて記録に残しています。また、子どもの発言から虐待が疑われるような言動があった場合は園長・主任に報告し、ミーティングノートに対象児への対応等を記入し、記録を残しています。保護者とはコミュニケーションを図り、異変に対する気付きの意識を持ち、異変を感じた場合は園長・主任に報告し、職員間で共有してサポートするようにしています。さらに、地域（小学校、区役所、児童相談所等）と連絡を密に図り、情報を共有するように努めています。
- 食物アレルギー疾患のある子どもの除去食を提供する場合は、生活管理指導表をかかりつけ医に記入してもらい、適切な対応を行っています。保護者には入園面談時に使用食材一覧表と食材チェックシートの説明を行い、チェックシートの記入および提出をしてもらっています。動植物へのアレルギー児については、保護者と相談の上、職員間で情報を共有し、子ども本人に意識付の声かけを行うようにしています。職員はアレルギー対応マニュアルを熟読し、マニュアルに忠実に沿って実践しています。給食では、色違いの専用食器を用い、除去食品、名前をトレーに記載し、調理室から除去の有無、代替えの食品、食材成分について伝達を受け、確認を徹底し、誤配膳、誤食がないようにしています。また、食事の順番、席の位置にも配慮し、誤食を防止しています。
- 文化が異なる外国籍の子どもへの対応では、日本の文化、生活習慣に無理強いすることはせず、子どものペースに合わせるようにしています。他の子ども達には他文化や生活習慣の違いを理解できるように、幼児クラスでは週1回の英語講師による「英語であそぼ」のプログラムを通して異文化を知る機会を設けています。外国籍の子どもに対しては、理解ができるよう分かりやすいジェスチャーや保護者から聞いた簡単な単語でコミュニケーションをとっています。外国籍の保護者については、連絡帳にはひらがなを用い、面談時に宗教食の除去の有無を把握し、全職員で情報を共有して対応しています。意思疎通が困難な場合には、翻訳ツールを使用して英訳をして伝達したり、通訳ボランティアに依頼して意思疎通が図れるよう対策を講じています。

評価分類 1 - 6	苦情解決体制
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 保護者からの苦情などに関しては、インフォメーションに苦情・相談の窓口担当者、第三者委員の連絡先を掲示し、行政窓口の紹介も行い、苦情に対する対応姿勢と手続き方法を示しています。要望や意見を聞く機会としては、意見箱・用紙を常時玄関に設置して気軽に意見が述べられるようにしています。また、行事後にはアンケートを実施して保護者の意見を抽出し、年2回、運営委員会を開催して保護者代表数名に参加をしてもらい園に対する意見を聴いています。

●苦情解決マニュアルを整備し、相談・苦情受付担当者は主任とし、相談・苦情解決責任者は園長と定め、第三者委員を交えて対応する仕組みを確立しています。また、園単独で解決困難な場合は、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制を整えています。苦情・要望があった場合の対応は、クレーム受理表に苦情・トラブル・要望内容について記録し、速やかに職員会議で検討し、法人とも相談して解決に向けて対応しています。

## 評価領域Ⅱ 利用者本人（子ども本人）の尊重

### 評価分類Ⅱ－1

### 保育内容 [遊び]

#### 評価



#### 評価の理由（コメント）

●子どもが自発的に活動できるよう、幼児の教材は子どもが自由に取り出して使用できるよう教材棚を設置し、玩具、絵本は発達にふさわしい取り揃えと、興味や季節に合わせて入れ替えを行っています。玩具は木や布できた温もりが伝わるものを用意し、玩具の置き場所は写真で示し、子ども自身で片づけやすいように工夫しています。活動に応じて、保育室にマットレスや畳、ソファを設置して子どもの寛ぎの場所を設け、パーソナルスペース、サークル、コーナーを設定して落ち着いて遊びに集中できる環境作りを行い、「粗大遊び」（0歳児の小山登り、平均台等）や、集中して遊ぶ玩具のスペースを分け、子どもが選択して遊べるようにしています。年齢別の時間は、グループ活動や「英語であそぼ」、プール時に設けています。個々に好きなことをして遊ぶ自由遊びの時間と、設定保育の時間等、バランス良く保育にあたっています。


●一斉活動や自由遊びについて、園では固定の考えに捉われることなく子ども達の意見や考えを積極的に取り入れ、子ども達とルールや遊び方を一緒に考えています。また、散歩の行き先や室内外の遊びの選択を子どもたちが行う機会を設け、自分の気持ちや尊重される中で自主性を育てています。自由遊びでは自由画帳、クレヨン、マジック、粘土、スズランテープ、廃材、折り紙等の素材を用意し、子どもが思い思いの自発的な表現活動を行えるように支援し、個人の作品を置くスペースを確保して個々のペースで継続した遊びができるように配慮しています。園で力を入れている「わらべうた」を通して特有の音階から心地良さを提供し、発達に応じてわらべうたに興味を持てるよう取り組んでいます。幼児では歌詞を貼ることにより自然に文字を覚え、年長児はひらがな表を貼り、見ながら文字が書けるようになる等、自然に興味・関心につなげています。

●栽培では、ベランダ、園庭で米、枝豆、さつまいも、とうもろこし、キウイ、バジル、ミックスリーフ、じゃがいも、パプリカ等を栽培し、5歳児が当番を決めて水やりを行い、成長を観察し、収穫の喜びを体験しています。収穫した野菜は食育活動で調理を行い、食に関心を持てるようにしています。飼育では、カブト虫の幼虫、ザリガニやメダカを卵から育て、観察を通して命の尊さについて知る機会とし、子ども達は図鑑や絵本で動植物への興味・関心を高めています。散歩や園外活動では、身近に自然に触れ、地域の方々と挨拶を交わし、杉山神社のお祭りへの参加や、老人ホームへの訪問、他園との交流保育等で交流を図っています。

●子ども同士のケンカの場合は、様子を見守りながら子ども同士で解決できるよう促し、互いの思いを受け止めながら年齢や発達状況に応じて保育士が仲介する等、状況を見極めて援助しています。乳児では、ケガにつながらないように留意し、子どもの気持ちを受け止め、代弁するように接しています。職員は、指示語、命令語は使用せず、乳児に対しても赤ちゃん言葉ではなく正しい言葉を遣って言葉の獲得ができるよう心がけています。

●健康増進の工夫では、天気の良い日は散歩や園外活動を積極的に取り入れ、幼児の散歩では公園マップを活用して色々な公園、商店街へ出かけています。3歳～5歳児は体力に合わせて散歩コースを選ぶ日を選び、散歩先ではドロ警、しっぽ取り、ダルマさんがころんだ、リレー等、身体を存分に動かし、健康増進に努めています。また、就学後の登下校に向けて雨の日にレインコートを着て散歩を行う等、雨の中で歩くことに慣れるようにもしています。乳児については、歩行完了していない子どもは玄関前で外気浴から始め、発達に合わせて階段の昇降や園庭遊び、園内散策、外へ散歩に出かけるよう段階的に進めています。

●紫外線対策やアレルギーへの対処について、園庭にキウイ柵や日除けネットを設置して日差しの軽減を図り、ベンチを設置して休息できるスペースを設ける等工夫しています。園外へ出かける際はカラー帽子を被り紫外線対策を行っています。園庭全面にゴムのチップを敷き、転倒による大きなケガを防ぎ、水遊びや泥遊びが満足してできるようにしています。プール遊びの際は、連絡ノート、体調をチェックして健康状態を把握し、年齢別にグループで行っています。夏場は、横浜市（防災メール）から光化学スモッグ情報をメール受信し、状況に応じて外遊びを控えるようにしています。

評価分類Ⅱ－1	保育内容 [生活]
評価	

### 評価の理由（コメント）

●食事を豊かに楽しむ工夫として、年間の食育計画を立て、子ども達で育てて収穫した野菜を活用して食育に生かしています。11月に収穫祭を設け、栽培した同じ野菜を使って食育に取り入れる等、子どもが楽しめるよう工夫して提供しています。盛り付けサンプルを基準に5歳児は配膳を行い、3歳、4歳児はセルフバイキング形式でデザート配膳を自分で行い、食事を楽しめるように工夫しています。5歳児は毎日、配膳、食器の片付けにかかわっており、月1回程度、配膳を含む食育活動を実施し、給食職員の指導の下、調理活動を行っています。


●食事については、子ども一人一人に合わせた食事量を盛り付け、完食する満足感を味わえるようにしています。偏食のある子どもには保育士が「おいしいね」と言って食べる姿を見せ、一口でも食べることができたら褒めて自信につなげるようにしています。幼児の食事の開始は一斉ではなく、それぞれのペースに合わせて食べ始めています。乳児の授乳については、家庭でのミルク摂取量・時間を連絡ノートと口頭で確認および把握し、遊びの空間から離れた落ち着いた雰囲気の中で、1対1で抱っこをして目を見ながら声をかけて授乳を行っています。0歳児は1対1～2名、1歳児は3対1、2歳児は4対1で食事介助を行い、スプーンの出し方は自分から食材を取り込もうとする動きを大切に援助を行い、食べる意欲につなげています。

●献立は園独自に作成し、季節感を大切に、食欲が湧くよう盛り付け等に工夫をして楽しく食べられるよう提供しています。栄養士は、食事・おやつの様子を見廻り、子ども達と会話をしながら、喫食状況、残食量を把握し、給食会議で形状、硬さ、大きさ等を話し合い、給食の改善につなげています。給食記録には毎日の残食、調理の仕方等が詳細に記録されています。離乳食では食材の味を生かし、適度な固さ・色合いもチェックし、形状についてはアドバイスを行っています。食材は長野県からの調達や、地域の業者より取り寄せて素の味を大切に、安全に提供しています。食器は環境ホルモンに配慮した陶器の食器を採用し、大切に扱うように伝え、食事マナー、物を大切に扱う意識につなげています。乳児は取り皿を用い、個々の一口の量が分かるようにしています。

●保護者には事前に次月のポイントを明記した献立表を配付し、「ばくばくだより」にレシピを掲示した情報提供や、給食のサンプルを玄関に展示して関心が持てるようにしています。また、園で栽培した野菜（パジル等）を使ったレシピを掲示し、子どもと一緒に料理をしてもらえるよう家庭での食育につなげています。保育参観・保育参加では試食（離乳食の検査含む）の機会を設け、園の給食の理解につなげています。食物アレルギーの献立は、事前に除去日を記載し、保護者に確認をしていただけるよう配慮しています。

●午睡については、安心して心地良く午睡ができるように室温、湿度、適度な明るさに配慮しながら棚やパーテーションで部屋を区切って場所を確保しています。午睡時は睡眠チェックを行い、乳幼児突然死症候群の対策を行い、0歳児は5分ごとに、1歳・2歳児は入園から3か月間は5分ごと、以降は10分間隔でブレスチェックを行い、うつぶせから仰向けの体勢へ戻した際の時間も記録しています。眠れない子ども、眠くない子どもには強制はせずに布団に横になる等、静かに過ごすように促しています。また、保護者から家庭での寝かしつけの様子を聞いて取り入れたりしています。5歳児は就学を視野に入れ、1月から午睡をなくし、生活リズムを整えています。

●トイレトレーニングでは、個人差があることを十分に理解し、排泄チェックリストを作成し、一人ひとりの間隔を把握し、トイレへ誘導する等、発達状況に応じて、保護者と連携を密にしながら進めています。また、間隔が1.5～2時間を目安に徐々に布パンツで過ごす時間を伸ばすようにしています。排泄に失敗した際は、子どもの羞恥心に配慮するよう心がけ、「次はトイレでできるといいね」とやさしく言葉かけを行い、シャワーを活用する等、気持ち良く過ごせるようにしています。

評価分類Ⅱ－２	安全管理 [健康管理]
評価	


### 評価の理由（コメント）

●健康管理は、健康管理マニュアルを備え、マニュアルに基づいて子ども一人一人の健康状態を把握しています。

予防接種の接種状況や既往症歴等は保護者に確認し、身体測定表に記載して把握しています。子どもの体調が悪い時は職員間で共有を図り、伝達ノートに詳細に記載し、降園時にどの職員でも対応できるようにして保護者に伝達を行い、翌朝に帰宅後の様子を伺い、記録しています。歯磨き励行では、年長児は歯科検診後に歯磨き指導を実施し、食後、おやつ、水分補給に麦茶を活用し、虫歯予防につなげています。

●定期的に嘱託医による健康診断・歯科検診、視聴覚検査を実施し、健診結果は身体測定表、歯科検診表に記載し、保護者にも知らせています。月1回の身体測定の結果も保護者に知らせています。健診前後には保護者に質問を受け、嘱託医に健診時うかがっています。通院が必要な家庭については、結果・経過確認を行い、園で対応が必要な場合は職員会議で周知し、対応に努めています。

●感染症等について、感染症に関するマニュアルを備え、登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応について、入園時に入園案内に明示して保護者に説明しています。感染症が発生した場合は、園内での感染症蔓延に注意し、注意喚起の掲示を行い、職員に対しても必要な情報を速やかに周知しています。保育中に発症した場合は、速やかに保護者に連絡を行い、お迎えまで事務所や談話室で個別に対応しています。地域、最新の感染症情報は行政や地域等から入手し、回覧をして職員間で共有化を図り、玄関に掲示して保護者にも周知しています。

評価分類Ⅱ－２	健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]
評価	

### 評価の理由（コメント）

●衛生管理マニュアルを整備し、定期的に見直しを行い、マニュアルを通読する研修を実施して衛生管理について徹底を図り、適切な処理が行えるよう体制を整えています。衛生管理マニュアル、嘔吐処理のマニュアルは各保育室、トイレに設置し、マニュアルに沿って毎日、トイレや保育室、共用部等の清掃を行い、園内の清掃・衛生管理に努めています。消毒では、次亜塩素酸消毒液を測定する濃度計測用のスプーンを備え、使用・用途に応じて濃度を変えて消毒を行い、子どもが触れた物全てに消毒を施し、オムツ交換台使用後は除菌を行っています。ノロウイルス対策では嘔吐処理セットを各部屋、トイレに備え、園内研修で処理方法の実演を実践し、習得しています。

評価分類Ⅱ－２

健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]

評価



### 評価の理由（コメント）

●安全管理では、安全管理マニュアル、事故防止マニュアルを整備し、事務所で保管して閲覧できるようにしています。園内はほとんど背の高い家具は採用しておらず、扉もタッチ式の開閉になっており安全管理がされていますが、家具への滑り止め、転倒防止ストッパーを取り付け、備品等の落下、転倒防止を講じています。緊急時に備え、園内の避難経路図や緊急時の職員体制を整え、保護者の登録メールアドレス、インターネット上の安心伝言板で連絡できる体制を整備し、事故や災害時に的確に対応できるようにしています。毎月、避難訓練を実施し、消火器、発電機の使用訓練も行っています。園では、ダムウォーターに備蓄品を備え、定期的に期限や数量を確認して管理しています。職員は心肺蘇生法の研修、定期的な救命救急講習会に参加して習得し、緊急時に備えています。

●事故やケガにおける対応法は、緊急対応マニュアルに明示し、閲覧できるよう備えています。保護者への情報発信体制を確認し、救急・医療機関のリストを備え、緊急時に対応できるようにしています。園内で事故やケガが発生した場合は、看護日誌、事故記録メモ（ヒアリハット）、伝達ノートに記載して職員間で共有化を図り、毎年チェックリストを記入し、事故リスク軽減と再発防止に努めています。子どもの事故やケガについては、ケガの部位、軽重にかかわらず保護者に連絡および説明を行い、伝達時の保護者の様子等も記録に残しています。園では、クラス別に多いケガをまとめ、改善・予防の話し合いを持っています。

●外部からの侵入に対して、不審者対応マニュアルに沿って訓練を実施し、職員間で認識する合言葉を取り決め、避難体制の確認を行っています。玄関出入口は常に施錠して安全に配慮し、インターホンで来訪者の確認を行っています。また、園内数箇所に警備会社への緊急通報装置を設置し、速やかに連絡できる体制を整備しています。送迎予定者は写真を事前に提出してもらい、全職員が把握して対応できるようにしています。また、保護者にはICカードを使用してもらい、閉園時間はロックして使用不可とし、不審者侵入防止に努めています。不審者情報は、保土ヶ谷区よりメール配信にて情報を入手し、必要に応じて掲示をして保護者へ周知しています。



### 評価の理由（コメント）

●職員は、差別的な発言、声のトーン・速度、言葉遣いの他、指示語、命令語の使用をせず、肯定的に置き換えて伝えるよう心がけ、子どもの気持ちに寄り添い、アイコンタクトでゆっくりとわかりやすく話すよう努めています。活動の切り替え時は子どもが納得するようゆったりと向き合って理解を促すようにしています。また、叱った後はスキンシップ・声かけを行い、子どもに共感して褒めるようにし、注意が必要な際は視線を合わせ、気づきを促すようにしています。職員は、子どもの人権を尊重し、子どもが自己肯定感を育くむよう職員会議で話し合い、確認しています。

●他児の視線を意識せずに過ごせる場所としてパーテーションや柵を活用して子どもが落ち着いて遊べる空間を設け、集中して遊べるよう配慮しています。必要に応じて他児の視線から離れた別室を活用し、プライバシーに配慮しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、個人情報の取り扱いについてのマニュアルを備え、定期的に個人情報の管理・扱いについて園内研修で確認し周知しています。ボランティア、実習生等にもオリエンテーションの際に個人情報取り扱いについて周知し、共通認識を図っています。保護者には、入園時等に個人情報の守秘義務について説明を行い、個人情報の取り扱い（肖像権等）の確認を行い、同意書を得、個人情報漏洩の恐れのある書類は手渡しをしています。職員会議議事録、資料、個人情報の書類は所定の場所に保管管理し、外部持ち出しを禁じています。また、伝達ノート、名簿は伏せるよう職員に徹底を図っています。

●性差に関する配慮では、全園児が平等に活動できるよう活動内容を考慮し、遊びや行事の役割、持ち物の区別、名簿、ロッカーの位置、グループ分けや整列も性別で分けすることはしていません。ネームプレートやカラー帽子の色は年齢別に統一しています。子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現をしないように心得、クラスミーティングで無意識の言動等があれば話し合い、共通認識を図る体制を整えています。園では、父の日、母の日、敬老の日を「特別な日」と捉えない保育を行っています。



### 評価の理由（コメント）

- 基本方針・園目標は、入園見学、行事の中で園長から保護者へ伝え、目が届く場所に園目標を掲示して理解を促しています。園では、行事後にアンケートを実施し、さらに卒園や退園児に向けてアンケートを配付し、保護者からの意見や要望を把握し、園運営に生かしています。また、保育参観、保育参加後の面談機会や、園と家庭での「エピソード記録」を通して子どもとのかかわり方、子どもの「見方」を共有できるように伝え、保育方針等が理解されるよう努めています。保護者に対しては、WELL-KIDS-PHOTO や写真の掲示、園だよりで子どもの様子、保育内容を伝え、保護者の安心、理解を促しています。
- 園生活での様子や活動内容は、0歳～2歳児は連絡帳、3歳児以上は、ホワイトボードを活用して、その日の様子を伝え、保育士とのかかわりや大切にしたい事柄を併せて記載し、親子のコミュニケーションや会話につなげています。保護者との連絡、伝達事項は、職員間で情報を共有し、送迎時に漏れないように努めています。
- 個別相談・面談について、保護者が話しかけやすいよう事務所のドアは常に開放し、受け付けています。相談等は談話室を活用して行い、面談中は鍵をかけてプライバシーを確保できるように配慮しています。相談を受けた場合は必要に応じて複数の職員で対応し、相談内容は園長に報告および助言を得、個人面談記録に記録し、継続的にフォローするようにしています。送迎時の相談等については、内容を伝達ノートに記録し、園長・主任に伝えてから回答を行い、担任間で伝達ミーティングにて共有を図っています。
- 園生活に関する情報は、定期的に園だよりを発行し、年4回、「エピソード記録」を実施し、園・家庭での様子を記録し合い、子どもの成長を共有しています。その日の保育については、連絡帳、ホワイトボードで知らせ、写真で子どもの様子や行事の様子を伝え、毎月「ラフ・クルーター」で情報等を提供しています。また、毎月、玄関に各クラスの子どもの写真を掲示してわかりやすく伝えています。
- 保護者の保育参加・参観については、年度初めに年間行事予定表、参観の申込書を配付し、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。保護者参加・参観は一斉に実施せず、各部屋で期間を決めて行い、保護者の都合や希望に応じて個別に行っています。定めた期間、日程以外でも柔軟に受け入れ、多くの保護者に参加・参観を促しています。参加ができなかった保護者に対しては、来年度の機会を伝え、参加の声かけを行っています。
- 保護者の自主的な組織は現状、設けていませんが、運営委員会を年2回実施し、保護者の参加を募り、意見交換を行っています。行事の際は事前にホワイトボードで参加、手伝いのボランティアを募り、お楽しみ会での保護者の演目の練習場所、謝恩会の場所を提供する等、良好にコミュニケーションが図られています。遠足では、昼食時に保育士が仲介して交流の場を設け、ゲーム等で和やかに交流を図っています。園長はじめ職員は、常に保護者とコミュニケーションをとり、意見交換がしやすい雰囲気作りや、環境作りに努めています。



## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

### 評価分類Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価



#### 評価の理由（コメント）

●地域の子育て支援ニーズを把握するために、保土ヶ谷区の赤ちゃん教室、合同育児講座等の地域交流に参加し、保育所への要望や情報を収集し、把握に努めています。また、虐待防止連絡会に参加し、関係機関と連携を図っています。地域の子育て支援連絡会では各施設の現状の情報交換を図り、職員会議で報告し、ニーズについて話し合っています。ラフ・クルー星川保育園では、「Meet baby」を開催し、初めての出産を控えた父母に対して赤ちゃんとのふれあい方、育児相談、子育ての不安軽減等、支援を行っています。

●地域の子育て支援については、現在、子育て事業の計画段階であり、定期的に職員間で話し合っています。ラフ・クルー星川保育園は、一時保育の受け入れを行い、登録時に園見学、案内・説明を行って周知しています。

また、年1回、保土ヶ谷区の赤ちゃん教室に園を提供し、一時保育での登録面談の際にもサービスのニーズの把握に努めています。

### 評価分類Ⅲ－２ 保育園の専門性を生かした相談機能

評価



#### 評価の理由（コメント）

●保土ヶ谷区のほどがや子育て情報びよびよマップ、広報よこはま保土ヶ谷区版、園のホームページ等に掲載して情報提供しています。相談事業については保土ヶ谷区の広報誌や、一時保育の受け入れ、園の紹介を掲載し、育児相談に応じる旨を発信しています。また、常時、電話での育児相談や送迎時に相談ができるよう体制を整えています。一時保育の利用者や園見学者にも園の情報を提供し、地域子育て支援として「にこやかほがらか」への参加・情報掲載、地域ケアプラザ内に掲示する等、情報を提供しています。育児相談では個人と、保土ヶ谷区役所経由で育児不安を持つ母親等からの相談を受け入れ、一時保育では出産や入院等の緊急時の預かりも行っています。

●園長は、各種連絡会に参加し、入手した情報は職員に周知しています。関係機関・団体等の連絡先リスト、保土ヶ谷区子育て応援ガイド「ほどぴよマップ」、常盤台地域エリアマップ等を活用して連携体制を整え、職員間で共有しています。関係機関（保土ヶ谷区こども家庭支援課・保土ヶ谷区役所保健センターの保健師・近隣小学校・地域ケアプラザ・横浜市西部地域療育センター・中央児童相談所、西部児童相談所・警察・消防署、マンション理事会、難聴教室等）との担当は園長とし、連携を図っています。幼保小交流事業は5歳児の担任を担当とし、保育園交流等、継続して取り組んでいます。

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

### 評価分類Ⅳ-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価



#### 評価の理由（コメント）

●地域への園の理解促進のための取り組みとして、地域の祭りへの参加やハロウィンで地域を巡回し、子育て親子や地域の方々と交流を図り、年1回、赤ちゃん教室の会場として園を提供し、育児相談を実施しています。また、マンションの理事会に年3~4回参加して園運営の理解を促し、卒園児に親子スポーツフェスタの招待状を送付して参加を募り、交流を深めています。

●子どもと地域との交流では、ネットワーク事業に参加し、年間を通じて他保育園、他園の職員や子どもたちと交流を図っています。また、老人ホームを訪問して世代間交流を深め、幼保小の交流では、就学を見据え近隣の小学校と定期的に交流を行っています。散歩で公園に行った際は地域の方と挨拶を交わし、公園で遊ぶ親子に玩具の提供をする等、交流を図っています。また、お泊り保育では近隣のスーパーへ買い物に行き、地域レクリエーション施設を活用して公共マナーを学ぶ機会等、地域とのふれあいを通して社会性を身に付けています。

### 評価分類Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供


評価



#### 評価の理由（コメント）

●園の保育内容・保育方針等の情報提供は、園のホームページ、保土ヶ谷区のホームページ、区の子育てカレンダーやパンフレット、保土ヶ谷区の子育て支援ブックや、横浜市の「ヨコハマはびねすぽっと」にも情報を掲載しています。保土ヶ谷区合同育児講座「にこやかほがらか」でも園の案内を置いて情報提供をしています。また、地域の情報誌に園の情報を掲載して地域に周知しています。

●園見学は随時受け入れ、基本的に平日 10 時 30 分から案内を行い、年齢に合った保育室の見学や、保育に支障のない程度に短時間でも一緒に遊べる機会を設けています。利用希望者からの電話問い合わせ等については、担当者が常時丁寧に対応し、担当者不在の場合は折り返し連絡を行っています。一時保育の見学、登録については平日 9 時 30 分からお願ひしています。園のパンフレットは保土ヶ谷区役所に設置して情報を提供しています。


<b>評価分類Ⅳ－３</b>	<b>ボランティア・実習の受け入れ</b>
<b>評価</b>	

### 評価の理由（コメント）

●ボランティア・実習生受け入れマニュアルを備え、マニュアルに沿って事前にオリエンテーションを行い、基本的な考え方や園の方針の説明を行い、理解を促しています。中学生の職業体験を積極的に受け入れ、意見交換を行い、仕事に対する興味を促し、次世代育成に力を入れています。職員には、事前に職員会議および回覧にて受け入れの主旨を説明しています。

●実習生は、担当を決め、実習生受け入れのマニュアルに沿って事前にオリエンテーションを行っています。園の保育方針、子どもへの接し方、保護者の対応と守秘義務、留意事項を説明しています。実習では、実習生本人の希望を聞きながら子どもの発達段階が見えやすいよう実習プログラムを作成し、効果的な実習に努め、毎日反省および翌日の打合せを行い、担当職員・主任が質疑応答に対応し、実習生の日誌にも助言を行い、気付き、成果に結び付けています。

## 評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

<b>評価分類Ⅴ－１</b>	<b>職員の人材育成</b>
<b>評価</b>	

### 評価の理由（コメント）

●必要な人材の補充については、横浜市の基準に基づき、園長と法人とで補充を行っています。職員は、職員会議や園内研修で理念、保育方針について園長から説明を受け、年 2 回、園長との面談を行い、年間目標や反省、自己評価を実施し、目標達成に応じて法人独自の「ステージ表」により評価を受けています。また、外部研修を受講し、知識・技術向上に努め、研修内容は報告・周知を行い、職員個々の資質向上を図っています。非常勤職員については議事録や重要事項を回覧して共有化を図り、職員の研修レポートを閲覧して資の向上につなげています。

●正規職員、非常勤職員の研修体制については、キャリアアップ研修を含む研修計画を作成し、職員が万遍なく研修が受けられるようにしています。法人主催の研修、他園見学会、園内研修、外部講師を招喚して研修を行う等、非常勤職員も希望により参加できるようにして知識・技術の向上を図っています。外部研修受講後は研修報告書を提出し、職員会議時に報告を行い、職員間で共有を図り、日々の保育で生かしています。報告書はファイリングして閲覧できるようにしています。

●園では、非常勤職員のマニュアルを設け、勤務体制を正規職員と組み合わせるよう配慮し、主任が子ども個々の様子、保育の方法、補助の仕方等を細かく指導を行い、新入職員用の書類を配付して心得等の共通認識を図っています。年1回、園長との面談を設けて要望等を把握するようにし、正規職員、非常勤職員間でコミュニケーションを図りながら園の円滑な業務につなげています。

評価分類V-2	職員の技術の向上
評価	

### 評価の理由（コメント）

●職員個々のスキルの段階に応じた知識・技術向上に取り組み、「ステージ表」や自己評価、第三者評価等、評価できる仕組みを整備し、質の向上につなげています。職員は、年間指導計画に基づき、保育日誌、月案、週案の自己評価を行い、日々クラスミーティングで話し合い、子どもの様子等の振り返り、年度末に各クラス、園全体の振り返りおよび自己評価をまとめて、より良いサービス提供につなげています。また、年3回、保育事例の検討会（日々の保育の振り返り）を実施し、意見交換を図り、全職員のスキルアップにつなげています。

●職員の自己評価は、月案、週案、保育日誌、行事計画書に自己評価の欄を設け、振り返りおよび改善を図るようにしています。課題があった場合は会議で話し合い、園全体で改善に取り組み、年度末の職員会議で年間の保育の反省を行い、抽出した課題は継続して次年度の計画に反映させています。保育所の自己評価は、保護者に掲示して公表しています。今年度、第三者評価を受審し、保育所全体の運営の向上に向けて取り組んでいきます。

**評価分類V-3****職員のモチベーションの維持**

評価

**評価の理由（コメント）**

- 総合的な人事管理では、法人独自に「ステージ表」を設け、入職からステージ1～3の能力に応じて昇格する体制を整え、基準に基づいて運用しています。また、年1回の昇給、キャリアアップに応じて手当を支給し、あらゆる側面から人事給与制度の改革に取り組み、全職員にも周知し、より効果的な人材育成により昇進、昇給に反映させ、モチベーションアップにつなげています。
- 園長は、職員の目標管理シートを基に面談を行い、評価内容のフィードバックを行い、成果を認め、次のステップに向けた努力や改善を要する能力について職員と共に考え、共通認識を図っています。職員からの意見等は、面談、会議の場だけでなく、いつでも園長や主任に改善提案や意見を述べるができるようにしています。
- 園長は、職員一人一人と面談し、満足度・要望等を把握しています。権限委譲については、可能な限り現場職員に委譲し、緊急時は担当職員に判断を委ね、必ず園長、主任に報告を行い、指示を仰いでいます。係活動や行事担当では、係長を定め、係長が意見のまとめ、作業の取りまとめを行うようにし、週案の作成では、各クラスの職員が順番に携わり、週の活動のまとめを行う等、役割分担を明確にしています。

**評価領域VI 経営管理****評価分類VI-1****経営における社会的責任**

評価

**評価の理由（コメント）**

- 保育所、職員として守るべき法・規範・倫理等の周知は、入社時の新人研修でコーポレートポリシーを学び、社会規範を遵守しています。コンプライアンスの要領等を備え、園長は他施設の事故・不祥事等の事例について、職員に回覧し、周知をしています。また、個人情報の扱い、義務遵守の徹底を心がけています。
- 保育所における事務、経理、取引等に関するルールや職務分掌について、雇用において労働条件通知書を提示し、辞令については「ステージ表」に沿って辞令の配付を行い、園運営経費には園長、法人事務担当でダブルチェックにて管理をしています。指導監査、外部監査の指導や指摘事項に基づいて、経営改

善を実施しています。

●ゴミ減量化、リサイクル・省エネ促進と緑化推進では、夏季・冬季での室温設定を定め、牛乳パックやトイレットペーパーの芯等の廃材を活用して手作り玩具を作り、リサイクルと教育に生かしています。保育室には観葉植物を置き、園庭にはキウイ棚により緑化を図り、省エネでは水の量の調整を行い、石鹸の量が少量になるよう工夫してエコ化に努めています。職員個人のゴミは持ち帰るよう実践し、ゴミ減量や環境への意識を高めています。会社のコーポレートポリシーにコンプライアンスを掲げ、積極的に環境保全に取り組み、園全体で節電の計画目標を立てて取り組んでいます。

## 評価分類VI-2

## 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

### 評価



### 評価の理由（コメント）

- 保育理念・基本方針は明文化し、方針、園目標を玄関に掲示し、職員、保護者等が目に触れるようにしています。職員に対しては、入社後の新人研修で説明を受け、パンフレット、重要事項説明書を配付しています。園長は、園内研修や職員会議で保育理念や基本方針に基づく保育について話し、保育に反映されるよう指導力を発揮しています。
- 重要な意思決定にあたり、園長は、運営委員会で議題として挙げて保護者代表等から意見を聞き、懇談会で文書および説明を行っています職員に対しては、リーダー会にて決定してまとめています。重要事項の変更では、職員間で共通理解を図り、保護者の理解が得られるよう玄関に掲載して閲覧を促しています。園長は、各クラス担任、職員と連携し、日常の役割分担の他、プロジェクトを推進する等、年間を通して保育課題の解決に努めています。
- 主任クラスの育成については、職務遂行基準に基づいて進め、主任研修、キャリアアップ研修に参加を促し、研鑽を図っています。主任は、職員の業務状況を実務や書類等を確認・把握し、シフトの作成を行い、職員個々の精神面、体調等に配慮して必要に応じて応援体制の調整を行っています。また、各クラスのミーティング、リーダー会に参加し、必要に応じて助言を行い、保護者に対しても相談に応じる等、園のパイプ役となり、円滑な園運営に努めています。

評価分類VI-3

効率的な運営

評価



### 評価の理由（コメント）

●園の運営面における情報は、横浜市の園長会議等に参加して情報を収集・分析を行い、保土ヶ谷区こども家庭支援課からも情報を得、重要性の高い情報は職員会議で話し合い、全職員に周知を図り、園運営に活かしています。事業運営に関してはリーダー会を設け、議論を行い、全職員に周知し、園全体で改善に取り組んでいます。保育所の自己評価や改善課題についても話し合いの場を設け、より良い園作りに向けて取り組んでいます。

●法人では中・長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、系列全園で展開しています。中・長期的な計画に沿い、全体的な計画、保育理念、保育方針を法人の園長会で話し合い、各園で保育計画・年間カリキュラムの話し合いを行い、作成しています。ラフ・クルー星川保育園では、年2回、目標管理シートの自己評価を実施し、職員個々の年間目標を明確にして目標に向けた資質向上に力を入れ、園長、主任、各職員がベクトルを一つにしてより良い園作りを目指しています。

## 平成 30 年度 福祉サービス第三者評価 本人（園児） 調査結果報告書

ラフ・クルー星川保育園

調査日程	平成 30 年 9 月 18 日・19 日
保育観察	保育園を調査者 2 名で訪問し、各クラスの視察、観察を行いました。生活環境の保育観察を行い、午睡の様子と保育観察を継続する中、食事場面も同席して子どもと保育士とのかわり等を観察し、食事の様子の観察を行いました。各年齢については 1 日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

ラフ・クルー星川保育園の評価調査では、第 1 日目に午睡と食事観察を行い、第 2 日目には午睡観察および戸外活動に同行して子ども達の様子、遊んでいる姿を見学しました。

### ■午睡前～午睡の観察

#### 【乳児保育室】

#### <0 歳～2 歳児>

乳児の保育エリアは、大きく 0 歳、1 歳児の保育室と 2 歳児の保育室に分かれ、中央のランチルームとはガラスの入ったパーテーションで区切られ、静かな環境を確保しています。0 歳と 1 歳児の保育室は簡易パーテーションで区切り、交流できるよう工夫がされ、0 歳児の月齢が高い子は 1 歳児の遊びに興味を示し、サークル越しに 1 歳児の動きを見たり、声を上げたりして気を引く姿が見られました。1 歳児も自分は大きい子と云う自負があるのか、小さい子に興味を示して世話をしたり、やさしく接しています。0 歳～2 歳児が上手く融合した生活の中で 3 歳以上の異年齢活動の基礎が作られていく過程が見られました。午睡前は、0 歳児は一人一人高い椅子とテーブルを用いて食事を摂り、床に寝るスペースとして布団を敷き、食べ終わった子どもから布団に入り、眠りにつきます。1 歳児からは低いテーブルと椅子に座り、1 対 3 で食事を摂っています。食事スペースから離れたところに布団を敷き、眠くなった子どもから順に眠りについていました。1 日目の午睡観察では、寝つくところをガラス越しに観察し、3～4 人の子どもの間に保育士が寄り添い、背中をトントンしてもらいながら安心して穏やかに眠りにつく表情が見られました。園では 2 歳児のみ独立した保育室を設けていますが、0 歳、1 歳児の部屋に行く通路にもなっており、完全な個室ではありませんが、子ども達は乳児保育室の中では一番大きく、また、幼児への意識も持ち、たくましく、悠々と寝ついていました。



## ■食事～午睡の観察

### 【幼児保育室】

#### <3歳～5歳児>

幼児の保育室は、ランチルームの右側全部が幼児の大きな1つの保育室となっており、低い棚やパーテーション等で仕切ったり、環境を変更しながら子ども達が快適に遊べるように工夫しています。昨年までは大きく「かぜ」と「くも」の2つの異年齢グループで活動していましたが、保育室スペース・活動の組み立てを考慮して現在は「かぜ・くも」として全体で活動を行い、また、5歳児（とり）、4歳児（にじ）、3歳児（はな）のクラス活動を有機的に実施し、クラス活動と異年齢活動および保育スペースを有機的に活動しています。幼児の食事は、個々の遊びの進行に合わせてランダムにランチルームで摂り、寝食を分離し、食べる順番は決まっていなくても3歳児から食べ始める体制が自然にできており、5歳児は食事のお手伝いを行い、自分達で食事を盛り付け、配膳を行い、「いただきます！」の声をかけ、ランダムな状況で声を合わせて食事を始めています。調査者もランチルームで食事を一緒に摂り、3歳～5歳児のテーブルでの出入りがあるものの「おいしいね」と言いながらそれぞれ落ち着いた食事風景でした。食後は、5歳児が食べ始める頃に3歳、4歳児で食べ終わった子どもから着替えをして布団に入る準備を行い、歯磨きは夜就寝前の歯磨きが最も大事であることを認識し、昼食後は全員が麦茶を飲んでから午睡するようにしていました。5歳児が午睡をしなくなるまでは3歳～5歳児全員で午睡を行っています。ランチルーム終了後は、5歳児、保育士で後片づけを行い、片付けが終わる頃には5歳児も順次静かに布団に入り、ランチルームの異年齢での食事の一連の流れが上手く回っており、寝食分離の清潔な午睡風景を見ることができました。

### 【お散歩の準備～散歩先での遊び】

#### <3歳～5歳児>

2日目の午前中、快晴にて幼児クラスと一緒に散歩に行きました。今日の在籍園児は3歳児10名、4歳児14名、5歳児12名にて、クラス別では少ないのですが一緒に歩くと散歩の情景は壮観です。5歳児全員が3歳児のサポートを中心として添い、足りない場合は4歳児が3歳児のサポートを行い、残りの4歳児は4歳児同士で手をつないで散歩に出かけます。玄関に子ども達が集まり、その中に1歳児、2歳児もいました。聞いてみると、一緒に出発して1歳児、2歳児は裏の園庭へ遊びに行きます。1歳、2歳児で中々靴が履けないでウロウロしている内に3歳～5歳児も相まみれ、玄関のスロープは子ども達で一杯になり、保育士が「○○ちゃんはこっちね」、「みんなはこちらに並びましょう！」等、子ども達を促す声で順番を待ち、1歳児がやっと靴を履き始め、玄関の外に出て皆が揃うのを待ちます。全員が階段を降り、1階に出て整列します。5歳児は赤い帽子、4歳児は白い帽子、3歳児は黄色い帽子を被り、園児30人を超すと賑やかです。整列後、「先生（保育士）のお話があります！」と保育士から声がかかりますが、子ども達から「おじいちゃんたち、どこから来たの？」、「どうしているの？」とか、調査者の名札を指さして「あっ！ミッキー」、「くいしんぼうあおむしが付いてる～」等と言ったりして中々先生（保育士）の話に顔を向け

ようとしませんでした。やっとな静かになると先生（保育士）がお話をします。「今日は峰岡3丁目公園に行きます」と散歩の行き先と注意事項を伝えます。子ども達の人数を確認した後、「出発！」と言い、みんな散歩に向かいます。横浜新道の高架が走っている手前を右折し、階段と急な坂を歩き、階段の途中には小さな公園があり、そこは坂を利用して登ったり下りたりして遊ぶ、遊具の無い公園で、散歩の帰りでは他園の乳児の子ども達が遊んでいました。階段が終わり、坂道に入ると途中にキノコが生えていて、子ども達は「あっ！キノコ」、「葉っぱの下にカマキリがいるよ！」と言いながら自然に親しみ、横浜新道の高速のトンネル上の山を越えて「峰岡3丁目公園」に到着しました。公園では年齢別に遊び、先生（保育士）からルールのお話を聞き、5歳児は公園入口の近くでドッジボールを行い、4歳児は滑り台の近くでしっぽ取りをして遊び、3歳児は鉄棒の近くで縄跳びをして元気いっぱい遊びます。4歳児のしっぽ取りの遊びでは、先生（保育士）が「鬼になる人〜！」と言うとたくさん手が挙がり、子ども達は逃げるより追いかける鬼が人気ようです。担任は明るく元気な男性保育士で、子どもたちと一緒に走り回ります。逃げて、逃げて、チャンピオンが決まりました。子ども達の元気な笑い声と思いきり全身から楽しい表情が見てとれました。4歳児はその後、鉄棒の練習をし、前回り、逆上がりを始めただけで先生（保育士）が手助けをしながら一人ずつ臨み、前回りのみの子や、両方やってみる子ども等、様々に挑戦し、その中で、足で蹴り上がるのを覚え、1人で鉄棒に上がって前回りができた子どもがいて、「拍手！」です。得意な笑顔が印象的でした。3歳児は、鉄棒の横に集まって縄跳びの練習を始め、縄の片方を鉄棒に結んで最初は縄跳びを地面に置いたままで左右に跳び、次は縄を揺らして飛んで楽しみ、縄跳びが終わったら自由に遊ぶ滑り台へと一斉に子どもたちは走って行きました。5歳児では、「転がしドッジボール」をして遊び、地面に円を書き、当てられる側が円の中（内野）に、当てる側が円の外（外側）に行き、外野はボールを転がして内野を当てます。当たった子どもは外に出て帽子を白に裏返し、内野は時間いっぱい当たらないように避け、時間終了時に内野が残っていたら内野の勝ち、全員に当たったら外野の勝ちという遊びに、子ども達はとても楽しそうです。次に滑り台等、自由遊びに移りましたが、転がしドッジボールが面白かったのか皆は戻ってきて再開し、元気いっぱい遊んでいました。

## <園庭遊び>

### 【1歳～2歳児】

園庭には築山、タイヤが3つ、砂場、プラスチックハウス、滑り台、ベンチ等があり、砂場の上にはキーウイ棚があり、桑の木も植栽されています。1歳、2歳児が園庭で遊んでいる姿を見に行くと、1歳児はプラスチックハウスに出たり入ったりして楽しそうに遊んでいました。2歳児は園庭全体で思い思いに自由に遊び、子ども1人が滑り台の上でどこかをぶつけたようで泣いているところを、先生（保育士）が抱っこして下ろし、築山に座らせて「どうしたの?」、「どこかぶつけたの?」とやさしく子どもの話を聞いていました。また、砂場には砂の部分と泥の部分が設けられ、子ども達は泥の部分に水を入れて楽しそうに夢中で遊んでいました。園長の話から卒園までにテカテカの泥ダンゴを作らせてあげたいと聞き、一生懸命泥遊びを楽しむ子ども達に、きっと満足のいくテカテカの泥ダンゴを得意になって見せてくれる日が来ることでしょう。

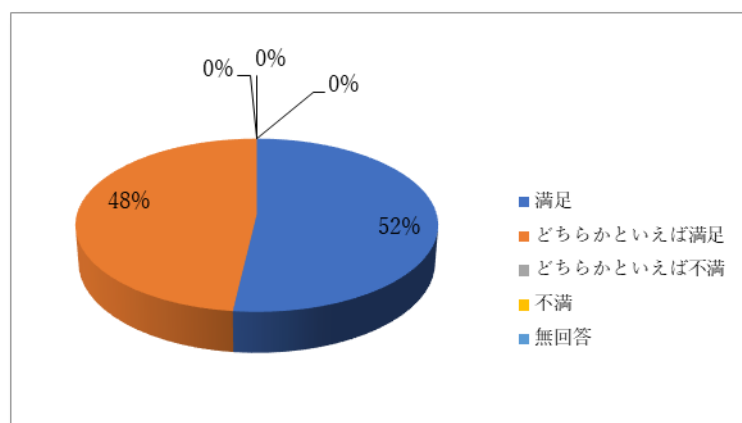
### 【ラフ・クルー星川保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	平成 30 年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族配付世帯数 (世帯数 72)
有効回答数	54 世帯
世帯総数に対する回答者割合 (%)	75%

未記入 1 世帯

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
8 世帯	11 世帯	13 世帯	8 世帯	7 世帯	6 世帯

\* 回答があった利用者満足度の内訳 (%)



●利用者アンケートの特徴として、保育園の「サービス内容について」の項目が総体的に『満足』が高く、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、「ほぼ満足」という）を見ると、中でも「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応について」、「給食の献立内容について」は、「ほぼ満足」において100%を得ています。『満足』の高い項目でも、「給食の献立内容について」は『満足』80%を得ています。また、「あなたのお子さんが大切にされているかについて」、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しているかについて」の2項目でも、『満足』は76%となっています。「ほぼ満足」とした高い項目については、「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応について」、「給食の献立内容について」の2項目が「ほぼ満足」100%であり、「見学の受け入れについて」、「入園前の見学や説明など、園からの情報提供について」、「保育園での1日の過ごし方についての説明」、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについて」、「園のおもちゃや教材について」、「園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について」、「保護者からの相談事への対応には」、「あなたのお子さんが大切にされているかについて」の8項目では、「ほぼ満足」について98%を示しています。その他の項目についても、「ほぼ満足」に関しては8割を超える評価が得られています。

●アンケートの自由記述からは、各年齢の保護者から「先生（保育士）一人一人が子どもたちに愛情を持って接してくれる」、「先生（保育士）方がとても良く対応してくれ、些細な心配事にも相談に乗ってもらえるので安心して預けられる」、「子どもに対する接し方、対応がすごく良い」、「子どもが先生（保育士）のことが大好きようで、保育園に楽しそうに通っている」、「親切過ぎるくらい優しく対応してもらえる」、「外遊びの機会も多く、家では体験させにくい絵の具等の活動も多く、働いている身としてはありがたい」等、多くの喜びと感謝の意見が挙がっています。

●『不満』および、『満足』が低い項目についてはほとんどありませんが、「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について」が、中でも『不満』6%として挙がっています。『満足』の低い項目では、「施設設備について」が挙げられています。

●アンケートの主な意見では、「もう少し保護者参加型の行事があると嬉しい」、「夏は汗だけで園児たちが遊んでいるので、熱中症にならないか心配」、「園の鍵の調子が悪く、鍵がかかっている時がある」、「教室が特に通気性が悪く、空気が通りにくいので換気をもう少ししてほしい」等の意見が挙がっています。保護者の不安、要望等を汲み上げ、改善できる点は検討し、利用者の理解や協力につなげられるよう日々の振り返りと見直しを図り、継続して取り組みを期待いたします。

●保育園の基本理念や基本方針については、よく知っているが7%、まあ知っている57%、どちらともいえない22%、あまり知らない9%、まったく知らない2%、無回答2%という結果になっています。しかし、それらの賛同については、賛同できる41%、まあ賛同できる24%、無回答35%にて、65%がほぼ賛同を示しています。保育の根幹なる保育目標、保育方針は機会あるごとに周知を行っていますが、より一層の周知・理解を促す工夫が期待されます。

●総合的に、『満足』は52%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は48%であり、『不満・どちらかといえば不満・その他』は0%にて、園のサービスの提供について、100%「ほぼ満足」していると捉えられます。

利用者調査項目（アンケート）

**ラフ・クルー星川保育園**

**【保育園の基本理念や基本方針について】**

※上段%、下段人数で示しています。

**問 1**

利用者調査項目		よく知って いる	まあ知っ ている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	7%	57%	22%	9%	2%	2%
		4人	31人	12人	5人	1人	1人
		賛同でき る	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	41%	24%	0%	0%	0%	35%
		22人	13人	0人	0人	0人	19人

**【保育園のサービス内容について】**

**問 2 入園する時の状況について**

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	65%	33%	0%	0%	2%	0%
		35人	18人	0人	0人	1人	0人
《その他意見》		・上の子の急な転園で見学できず。					
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	70%	28%	0%	0%	2%	0%
		38人	15人	0人	0人	1人	0人
《その他意見》		・見学していません。					
5	園の目標や方針についての説明には	63%	33%	4%	0%	0%	0%
		34人	18人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》							
6	入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応については	70%	30%	0%	0%	0%	0%
		38人	16人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							

7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	54%	44%	2%	0%	0%	0%
		29人	24人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
8	費用やきまりに関する説明については（入園後に 食い違いがなかったかを含めて）	57%	39%	4%	0%	0%	0%
		31人	21人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》							

### 問3 保育園に関する年間の計画について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
9	年間の保育や行事についての説明は	56%	41%	2%	2%	0%	0%
		30人	22人	1人	1人	0人	0人
《その他意見》							
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされ ているかについては	52%	46%	0%	0%	2%	0%
		28人	25人	0人	0人	1人	0人
《その他意見》		・わかりません。					

### 問4 日常の保育内容について

#### 「遊び」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	54%	39%	4%	0%	4%	0%
		29人	21人	2人	0人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな遊びをしているのかあまりわかりません。</li> <li>・本人が話してくれないのでわからない。</li> </ul>					

12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	54%	33%	7%	0%	6%	0%
		29人	18人	4人	0人	3人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、0歳なので難しいかなとも思う。</li> <li>・まだ、戸外遊びできる月齢ではない。</li> <li>・遊具が豊富な公園より、園庭遊びが多いので広い所で遊ばせてほしい。</li> </ul>					
13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	63%	35%	2%	0%	0%	0%
		34人	19人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
14	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	48%	35%	11%	0%	6%	0%
		26人	19人	6人	0人	3人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、園外活動できる月齢に達していないため。</li> <li>・年長さんメインなので…。</li> <li>・よくわかりません。</li> </ul>					
15	遊びを通じた友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	67%	30%	4%	0%	0%	0%
		36人	16人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者同士のコミュニケーション不足。</li> </ul>					
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	48%	48%	2%	0%	2%	0%
		26人	26人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくわかりません。</li> </ul>					

### 「生活」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
17	給食の献立内容については	81%	19%	0%	0%	0%	0%
		44人	10人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	69%	28%	2%	0%	2%	0%
		37人	15人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、1歳なのでよくわからない。</li> </ul>					

19	基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	61%	28%	7%	0%	4%	0%
		33人	15人	4人	0人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児なのでわかりません。</li> <li>・概ね満足していますが、歯みがき、うがいの練習がない点は不満です。</li> </ul>					
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	63%	33%	2%	0%	0%	2%
		34人	18人	1人	0人	0人	1人
《その他意見》							
21	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	41%	39%	9%	2%	7%	2%
		22人	21人	5人	1人	4人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、はずれる年ではない。</li> <li>・0歳児なのでわかりません。</li> <li>・まだ、おむつはずしができる月齢に達していないため。</li> <li>・まだ、取り組んでいない。</li> <li>・トイレトレーニングが2歳児クラスからで遅い対応。</li> </ul>					
22	お子さんの体調への気配りについては	70%	26%	4%	0%	0%	0%
		38人	14人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》							
23	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	70%	24%	6%	0%	0%	0%
		38人	13人	3人	0人	0人	0人
《その他意見》							

#### 問5 保育園の快適さや安全対策については

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
24	施設設備については	37%	46%	15%	2%	0%	0%
		20人	25人	8人	1人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中や下の子の抱っこ、ベビーカーの上げ下ろし等、何かと階段がきつい。</li> <li>・夏場は室内が蒸し暑い。</li> <li>・朝は電気点ける所が少なく暗い。</li> </ul>					



25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについては	46%	48%	4%	2%	0%	0%
		25人	26人	2人	1人	0人	0人
《その他意見》		・1歳児クラスの部屋が狭い。					
26	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	57%	31%	9%	2%	0%	0%
		31人	17人	5人	1人	0人	0人
《その他意見》		・朝、よくロックが解除されたままになっています。確認しない保護者が多いです。					
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	39%	41%	13%	6%	2%	0%
		21人	22人	7人	3人	1人	0人
《その他意見》		<p>・こちらから聞かないと教えてくれない。</p> <p>・本児が感染してから流行しているという話が多い。気をつけようが集団なので、難しいとは思いますが感染症や伝染等の病気は早めに伝達していただけると心構えができる。</p>					

#### 問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	39%	46%	6%	2%	6%	2%
		21人	25人	3人	1人	3人	1人
《その他意見》		<p>・まだない。</p> <p>・親同士の交流の場が少ない。</p> <p>・あんまりないです。</p> <p>・まだ、行っていない。</p>					
29	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	59%	39%	2%	0%	0%	0%
		32人	21人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	72%	20%	6%	0%	2%	0%
		39人	11人	3人	0人	1人	0人
《その他意見》		・参加可能かは別として、保護者参加行事がもう少しあると嬉しい。					

31	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	54%	43%	4%	0%	0%	0%
		29人	23人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》		・先生によって全く違う。					
32	お子さんの関する重要な情報の連絡体制については	59%	37%	4%	0%	0%	0%
		32人	20人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》		・連絡する順番が違ったことがある。					
33	保護者からの相談事への対応には	67%	31%	2%	0%	0%	0%
		36人	17人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	65%	26%	6%	0%	2%	2%
		35人	14人	3人	0人	1人	1人
《その他意見》		・そのような場面がない。					

### 問7 職員の対応について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	76%	22%	0%	2%	0%	0%
		41人	12人	0人	1人	0人	0人
《その他意見》		・泣くなら帰らなさいと言われる。					
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	76%	20%	2%	0%	2%	0%
		41人	11人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		・本人が話してくれないのでわかりませんが、その日その日で変わるのかなと思います。					
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	61%	22%	0%	2%	13%	2%
		33人	12人	0人	1人	7人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー等がまだないのでわからない。</li> <li>・アレルギーがないのでわからない。</li> <li>・該当しないのでわかりません。</li> <li>・よくわからない。(1)</li> </ul>					

38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	70%	24%	2%	0%	4%	0%
		38人	13人	1人	0人	2人	0人
《その他意見》		・職員によって役割があると思うので人による。 ・朝は、職員が少ないのと忙しそうなのもあり、引っ込みがちな子に話しかけにくい状況なのではないかとも感じます。					
39	意見や要望への対応については	61%	33%	4%	0%	0%	2%
		33人	18人	2人	0人	0人	1人
《その他意見》							

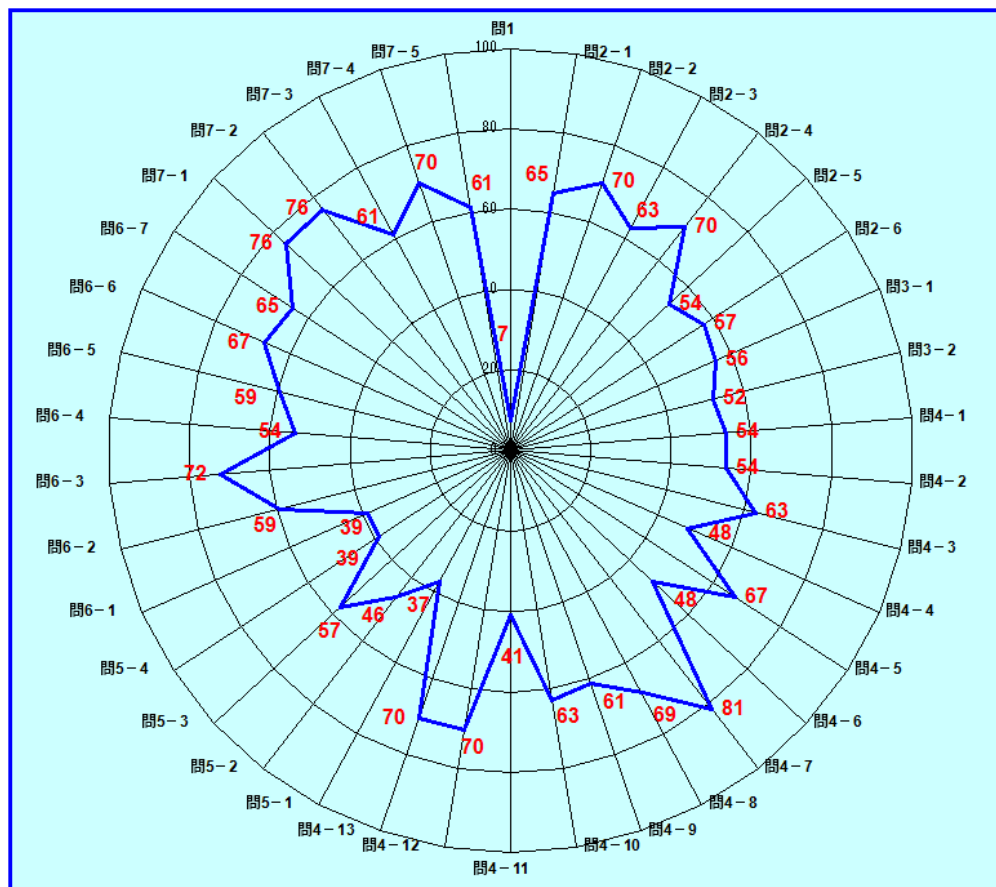
### 問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	52%	48%	0%	0%	0%
		28人	26人	0人	0人	0人
《その他意見》						

# 保護者アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

（注）レーダー数値は設問別「満足度」回答率（小数点以下は四捨五入）

調査対象園舎：	ラフ・クルー星川保育園	横浜市保土ヶ谷区和田 2-3-3 国村ビルダイアパレス XM 横浜 2 階
回答世帯数：	72 世帯中 54 世帯 <0 歳児(8 世帯)、1 歳児(11 世帯)、2 歳児(13 世帯)、3 歳児(8 世帯)、4 歳児(7 世帯)、5 歳児(6 世帯)、未記入(1 世帯)	
定 員：	90 名	調査期間： 2018/06/15 ~ 2018/09/19



## 事業者コメント

施設名： ラフ・クルー星川保育園

園長名： 吉田 加恵子

### <評価に取り組んだ感想>

開園して今回で 3 回目の受審となりました。今回も職員が各自項目に沿って評価し、さらにリーダー・主任・園長で内容を精査しました。職員一人一人が各評価項目に基づき自己評価を行い、また、工夫している事例も振り返ることにより自分自身の仕事や保育の現状を客観視できたと思います。事例を挙げることで、職員間のコミュニケーションをより密に取ることができ、全体的に保育の質の向上にもつながったと感じています。

保育園において常にお子さんを中心に保護者と保育者が支え合うことを大切にして参りました。今回の受審を受けて保護者の皆さまの当園に対するご理解と職員への信頼を改めて感じております。これからも築き上げられた絆を大切に、保護者の皆さまのご協力をいただきながら職員一同、さらなる保育の向上につなげたいと思います。

今回の受審結果を真摯に受け止め、今後もより丁寧な保育に努めて参ります。

### <評価後取り組んだこととして>

1. 保護者との積極的なコミュニケーションを取る
2. 職員間の伝達を密にし、保護者対応の際、伝え忘れのないようにする
3. 子ども・保護者の気持ちに寄り添い、丁寧な対応を心がける
4. 保育内容を掲示物等で発信していく